



今回は新型コロナウイルスにも負けずに 活躍している生産者の方を取材しました！

小久保..新島に移住することになつたきっかけは？

始めた家庭菜園が面白いなと思ったところ、明日葉部会の生産者募集のチラシを見て、農業を仕事にするのもありだな、やりたいな！と思つたのが最初です。ただ当時は1歳の娘がいて、もう少し子どもが大きくなつてから、と部会の方に言われて時期を待つことに。2年たつても農業をやりたい気持ちが冷めず、農業委員さん、役場にも相談して農地貸借で土地を借り、念願の明日葉栽培を始めました。

小久保..村内の住居はどのように探しましたか？

今回の議会の一般質問でも半数の議員がコロナウイルス感染症のことについて触れていますが、幸いにも新島村ではまだ感染者は出でていません。この地域でもまだ予断を立てた家との行き来で子どもと離れる時間がが多くなり、住まいと加工場が併設できて自由に改装できる場所を探しました。人づてに探し、場所を決めるのに1年

天野..先に移住し漁協に勤めていた主人との結婚を機に、新島へ來ました。若郷の村営住宅で主人が暮らしていたので、初めはそこで住んで、仕事はホテルの掃除などのアルバイトをしていました。

小久保..農業をやろうと思つたきっかけは？

天野..長男が保育園に入る頃に

また同じように栽培しても、規格品外として廃棄されてしまう葉が出てしまうのがかわいそうで、栽培を始めました。

小久保..新島村には移住する魅力がありますか？



天野律子(あまのりつこ)さんプロフィール
1971年生まれ、小金井市出身。平成15年に新島に移住、平成26年に明日葉農家としてA-Farmを立ち上げる。明日葉ペーストや焼き菓子などの加工品も開発している。一男一女の母。

天野..夢だけでは厳しいけれど、のんびりした自然いっぱいの環境ですし、耕作放棄地もたくさんあり、農業の可能性はあります。コロナ禍で農業に目覚めた人も多いので、島だからこそインターネットを活用した販売など、新しい農業の形を作つていいと思うのはと思います。一ターン者を受け入れる住宅や研修施設の整備が整えば、新島の人口を増やせる！とも思います。これまでたくさんの方に助けられて、今の形があります。今後は新島で農業を始める人たちの助けになれたらと思います。

加工品にして新島産のお土産にしたいなと考えるようになりました。

編
集
後
記

広報編集委員会メンバー
委員長: 小久保利佳
副委員長: 木村諭史
委員: 前田泉
..前田寿夫
..青沼弘

ぐらいはかかりました。

う。

我々の議会だよりは住民の皆様のお話、意見等も多く載せておきたいと考えています。地域の面白いお話、あるいはニュース的なお話があったら、お寄せいただけたら幸いです。
(前田 寿夫)